

1 1月7日 朝礼にて 校長講話

今朝は早く来た学年は、お話の題名を見てしまいましたね。何だった？そうです。先週、サッカーバスケ競技会についてお話をしたときには、スポーツの秋というお話をしました。いろいろな秋の表現がありますが、今日は芸術の秋という内容のお話しです。

これ何に見えますか。手形がいっぱいありますね。どの辺で、いつの時代のものかということ、今から約 2000 年前アルゼンチンの自然の岩の壁にぺたぺたと手形が押されたものです。白いものや茶色のもの、いろんな手の壁画があります。もっとちがった、これはどうですか。手やヤギ、シカかな。動物はもっと大きく描かれていますね。これはインドネシアの洞窟の壁に書かれたものです。こんなものもあります。これは何に見えますか。シカ？ウシ？こんなのがスペインの洞窟の壁に描かれていて、すごく大きな絵です。これらは文字もない頃に人はこうやって絵を描いて表現したんですね。



これは？誰かが作った粘土細工みたいだけど、これは昔の日本人が作った人間の像のようなものです。このほかにも、こんなものもあって、6年生は見たことあるよね。はにわとか土偶と呼ばれます。よく見るとめがねを掛けているようにも、洋服を着ているようにも見えます。このほかにも、こんな焼き物も作りました。文字が残っているわけではないので、何のためのものかわからないところもありますが、思っていることを絵や形で表したりできるのが人間なのです。みんなも作品展に向けて、いろいろな作品に取り組んでいるよね。表現することは、とても人間らしい営みです。そして、それを見ることも勉強になります。11・12日に作品展が行われます。この機会に色んな人の作品に触れるのもよいことです。また、展覧会も行われています。出かけてみるのもいいと思います。